

交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）メールマガジン



第10号（2014.1.20）

発行：交通環境学習メールマガジン事務局

（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）



■目次

1. 交通環境学習に関する寄稿

（1）「大学生の交通環境学習（MM教育）に対する関心」

【常磐大学人間科学部助教 大高 皇】

（2）帯広市における交通環境学習の取組について

【帯広市商工観光部商業まちづくり課】

2. ニュース／トピック

3. イベント、フォーラム、セミナー等の開催案内

4. その他

1. 交通環境学習に関する寄稿

(1) 「大学生の交通環境学習（MM 教育）に対する関心」

【常磐大学人間科学部助教 大高 皇】

私が茨城県水戸市内の私立大学で社会科の教員養成に携わり始めてから、9ヶ月が経過しました。ここ水戸市も、中心市街地でのフードデザート問題や、地元のバス事業者の経営破綻など、交通に関する問題を抱えており、モビリティ・マネジメント（MM）の必要性を肌で感じています。そこで、教員養成課程の中で、交通環境学習を担うことができる教員を育てられないかと、日々試行錯誤をしています。

この試みをはじめて気が付いたのは、きっかけさえ与えれば、大学生はMMや交通環境学習に強い関心を持つ、ということです。例えば、私の担当科目の一つ、人文地理学Ⅱでは、交通地理学の見方・考え方を学生に習得させた後、水戸市内でフィールドワークを行い、上述の問題を体感させました。そして、「水戸市でMMを行うには、どんな施策が有効だろうか」を考えさせました。

すると大学生は、次々に色々なアイデアを出してきます。「カーシェアリングを普及させてはどうか。」「山手線の電車みたいにバスの車内に液晶モニタを設置して広告を流せば。」「小学生にバスの乗り方を教えよう。」これらの提案に対し、具体的事例を紹介するのが私の役割です。「カーシェアリングを導入している大学があるよ。」「『かな ch.』というデジタルサイネージを調べてごらん。」「バス教室の事例を集めてみたら。」このように私がキーワードを提示するだけで、大学生はそれぞれの具体例を調べ、発表し、互いに有効性を評価することができました。

交通は生活に身近なものです。従って、きっかけさえ与えれば、誰でも交通について切実性をもって考えることができます。この点が、交通環境学習の魅力だと思います。

※本寄稿は、下記URLからファイルとしてダウンロードしていただけます。

http://www.mm-education.jp/magazine/MMedu_mailmaga10-1.pdf

(2)「帯広市における交通環境学習の取組について」

【帯広市商工観光部商業まちづくり課】

帯広市は、平成 20 年 7 月に国から環境モデル都市、平成 25 年 6 月にバイオマス産業都市に認定され、環境にやさしいまちづくり、豊富なバイオマスを活用したエネルギー自給可能なまちづくりを目指して様々な取組を進めています。その中でも交通環境学習については、環境に負荷の少ないバス交通への理解と浸透を図ることを目的として、平成 19 年度から出前講座「環境問題教室」を実施しており、これまでに、延べ 46 団体 3,349 名が受講しています。

この事業は、国土交通省 北海道運輸局 帯広運輸支局や B D F の製造・販売を行っている民間事業者、バス事業者と協同で、将来ドライバーになり得る小学生や自家用車の事故率が高くなる高齢者を対象に実施しており、地球温暖化や運輸との関係、天ぷら油の廃食油をリサイクルして製造した B D F の精製や活用方法をテーマにした講座や、B D F を燃料にして走るバスの乗車体験を通して、市民の環境負荷低減に対する関心を高めるとともにバス交通の優位性を見直してもらい、過度に自家用車に依存せず公共交通を利用する習慣への転換を推進しています。

また、市内の路線バスでは全車両に廃てんぷら油の回収ボックスを設置しており、環境問題教室においても児童が家庭から持参した廃てんぷら油をバスの乗車体験時に回収するなど、環境配慮行動と公共交通利用を連携させた取組を行っています。

今後もバス事業者、民間事業者、学校関係者等と連携して講座内容の充実を図り、環境に優しいバス交通の利用促進に向け、交通環境学習の取組をより一層進めていきたいと考えています。

※本寄稿は、下記 URL からファイルとしてダウンロードしていただけます。

http://www.mm-education.jp/magazine/MMedu_mailmaga10-2.pdf

2. ニュース／トピック（取組みの実施結果や開催報告 等）

【交通環境学習関連の取組み】

- 東北運輸局は10月9日に福島市立・鳥川小学校の4年生（60名）を対象に「バスの乗り方教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/tohoku/kk/kk-ecoclass-2013-hukushima.pdf>

- 四国運輸局、愛媛運輸支局並びに愛媛県バス協会は、10月11日に西条市立・楠河小学校の3年生（16名）と4年生（18名）を対象に「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2013/2013-1121-1436.pdf>

- 四国運輸局と高知運輸支局は、10月17日に高知市立・神田小学校の3年生（89名）を対象に「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2013/2013-1121-1437.pdf>

- 九州運輸局は大分盲導犬協会・社会福祉法人大分市社会福祉協議会・大分バス・大分シティタクシーの協力のもと、10月17日に大分市立・植田小学校の4年生（70名）、10月18日に大分市立寒田小学校の4年生（98名）を対象としたバリアフリー教室を開催。

http://www.tb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/koutuu/file10/kbftuusin_009.pdf

- 四国運輸局、香川運輸支局は、10月23日に丸亀市立・城辰小学校の5年生（77名）を対象に「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2013/2013-1121-1513.pdf>

- 岡山運輸支局は岡山県・岡山中央警察署と連携し、10月24日に地元老人クラブの方を対象とした「高齢者の交通安全・バスの乗り方教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/release/13102401.html>

- 四国運輸局、徳島運輸支局並びに徳島市交通局は、10月30日に徳島市立・上八万小学校の4年生（50名）を対象に「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2013/2013-1121-1514.pdf>

- 中国運輸局は 10 月 31 日に岡山中央警察署との協働により、高齢者を対象に「高齢者の交通安全・バスの乗り方教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/topics/topics13111901.html>

- 岡山運輸支局は、11 月 12 日に地元老人クラブの方を対象に「高齢者のバスの乗り方教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/release/13111201.html>

- 富山県富山市役所は、11 月 12 日に富山市立・呉羽小学校の 6 年生を対象にこれからの交通機関の利用についての理解を深めることを目的とした授業「環境にやさしい交通機関の使い方を考えよう」を実施。

http://www.city.toyama.toyama.jp/toshiseibibu/kotsuseisakuka/mobilitymanagement_7_2.html

- 島根運輸支局は 11 月 20 日と 21 日の 2 日間に渡って、出雲市内を運行している乗合バス乗務員を対象に視覚障害者の方への適切なサポートを学ぶ「交通バリアフリー教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/release/13111801.html>

- 四国運輸局、徳島運輸支局並びに徳島市交通局は、11 月 26 日に徳島市立・八万南小学校の 4 年生（84 名）を対象に「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2013/2013-1212-1515.pdf>

- 四国運輸局、徳島運輸支局は、11 月 27 日に徳島市立・藍住西小学校の 4 年生（106 名）を対象に「バリアフリー教室・バスの乗り方教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2013/2013-1212-1516.pdf>

- 国際興業グループは 12 月 1 日に「国際興業バスまつり 2013」をさいたま東営業所で開催し、その催しの中で「バスの乗り方教室」や「バスの綱引き」などを実施。

<http://5931bus.com/busfest/2013/busfestival2013.html>

- 香川県坂出市では 12 月 1 日に坂出保育園児（5 歳児園児 37 名）を対象に坂出市循環バスの車両を用いたバスの乗り方教室を開催。主催は琴参バス。

<http://www.city.sakaide.lg.jp/uploaded/attachment/5956.pdf>

●中国運輸局・交通環境部は12月5日に広島市立・中筋小学校2年生(103名)を対象に「環境学習・バスの乗り方教室」を開催。

<http://www.tb.mlit.go.jp/chugoku/release/131205.html>

●愛媛県は12月5日に県立宇和島中等教育学校4年生、12月6日に県立松山工業高等学校1年生、12月9日に県立今治南高等学校1年生らを対象に「自転車を安全に楽しく乗るための教室」を開催。

<http://www.pref.ehime.jp/hiroba/hiroba/2601.html>

●島根県増田市・地域振興課は石見交通と協力して高齢者を対象にした「路線バスの乗り方教室」を12月16日に開催。

<http://www.city.masuda.lg.jp/soshiki/21/detail-16127.html>

●長野県松本市は、自動車中心の社会を見直し、人、自転車、公共交通を優先する環境に優しい、新しい交通体系によるまちづくりを推進する「第7回交通のまちづくり学習会」を1月16日に開催。

https://www.city.matsumoto.nagano.jp/kurasi/sumai/doro/osirase/gakushuka_i7.files/chirashi7.pdf

●東京運輸支局は1月18日に大森学園高等学校(東京都大田区)の2年生を対象に「バリアフリー教室」を開催。

http://www.tb.mlit.go.jp/kanto/s_tokyo/date/to_p140110.pdf

3. 【イベント、フォーラム、セミナー等の開催案内】

● さっぽろエコドライブ活動セミナー

日時：2014年1月29日（水）14時30分～16時30分

場所：札幌エルプラザ2F環境研修室（札幌市北区8条西3丁目）

主催：札幌市・環境局環境都市推進部環境計画課

定員：70名

対象：市内事業者

申込：必要

<http://www3.city.sapporo.jp/shimin/opkaigi/public/detail.asp?id=2013120041>

● エコドライブ推進全国フォーラム in TOYOTA

日時：2014年2月9日（日）14時～16時30分

場所：ボルファートとやま 2階多目的ホール「真珠」（富山市奥田新町8-1）

参加費：無料

定員：250名

主催：経済産業省、富山県

http://www.pref.toyama.jp/cms_sec/1706/kj00013896.html

● 「エコドライブ講習会」

日時：2014年2月22日（土）

募集：2014年2月14日（金）まで

場所：埼玉県綾瀬市役所1階J1-1会議室

主催：あやせ環境ネットワーク・綾瀬市

講師：都南自動車教習所

<http://www.city.ayase.kanagawa.jp/ct/other000027000/h26ekodoraibuchirashi.pdf>

● 第2回地域バス交通活性化セミナー「『バスの力』を考える～過度な自動車依存からの脱却を目指して～」

日時：2014年2月12日（水）13:30～16:50

場所：郡山ビューホテル5階「プリアール」

主催：公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、国土交通省東北運輸局

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/2nd_seminar.html

●第3回地域バス交通活性化セミナー「地域活性化及び低炭素社会に資する地域公共交通の実現に向けて」

日時：2014年2月18日（火）13:30～17:00

場所：ホルトホール大分 小ホール

主催：国土交通省九州運輸局、おおいた低炭素地域づくりコンソーシアム、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/3rd_seminar.html

●第7回 EST 普及推進フォーラム「交通と環境配慮を考える～交通政策基本法の制定を受けて～」

日時：2014年2月21日（金）13:30～17:00

場所：ルポール麴町2階「ロイヤルクリスタル」

主催：EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団

<http://www.estfukyu.jp/forum7.html>

4. その他

- 第3回 E S T交通環境大賞の結果について【E S T普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団】

http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2013_02.html

- 交通バリアフリーを題材とした学習プログラムの提供等をしています【公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団】

小学生向け

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/education/bfeducation_top.html

中学生向け

http://www.ecomo.or.jp/barrierfree/education/bf_jrhigh_education_top.html

- 記事募集中本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。交通環境学習（モビリティ・マネジメント教育）に関連する取組みや話題、イベントの案内等を事務局までお寄せください。

→E-mail : mailmagazine@mm-education.jp



発行：交通環境学習メールマガジン事務局
（公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団）

バックナンバー（交通環境学習に関する寄稿）の閲覧はこちらから

<http://www.mm-education.jp/magazine.html>

配信申込はこちらから

http://www.mm-education.jp/mailmagazine_form.html

配信停止をご希望の方は下記アドレスまでご連絡ください

→E-mail : mailmagazine@mm-education.jp

交通環境学習（モビリティマネジメント）

教育ポータルサイト：<http://www.mm-education.jp/>

